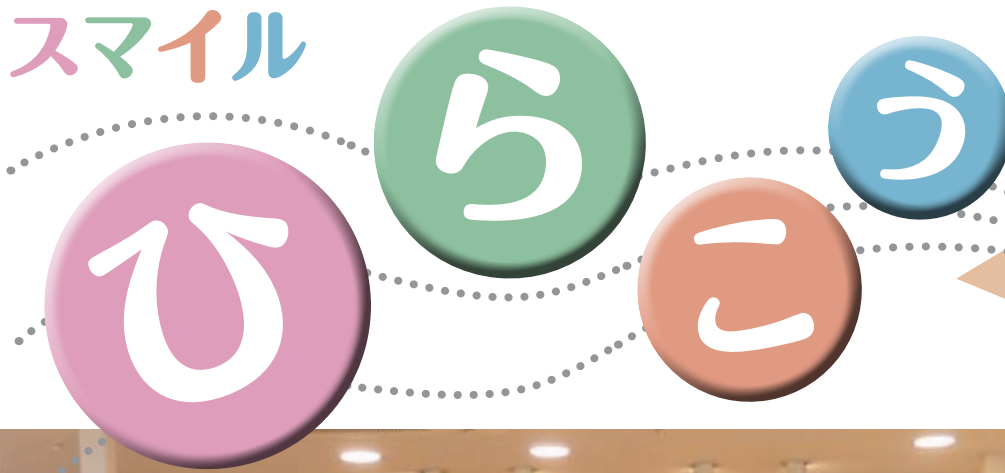


スマイル



新年のご挨拶

Information / CEのつづやき④ / エキスパートナース④ /
連携医療機関紹介 vol.4 / 院長のひとり言④ / 「旬」なお話 vol.4



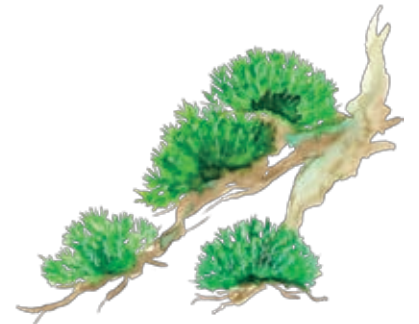
新春

新年のご挨拶を申し上げます

新年おめでとうございます。2014年が皆様にとって意義ある良い年になることを祈っております。2013年には政権交代で、景気上昇の誘導に期待を持たせる年となりました。さらには大阪や、東京の中小企業の連合体が宇宙、あるいは深海に大いなるベンチャーを試みる機運が高まりました。しかし原発の今後の行先へも我々の志向が試される年でもありました。再生医療はますます現実化し、今後の医療における位置づけを明確にしていきます。他人事ではない知識の共有が期待されます。多くの話題は各々の立場と努力目標を明確にさせることの重要性を示したと考えます。

今後、これまでに確立した枚方公済病

院の正の遺産を伸ばし、また負の遺産は上昇へのきっかけとして、早急に取り組んでいくことが求められます。1号館の4階の実装が済み、4月からは313床が稼働します。私が赴任して8か月、医療環境を良くし、やる気を起こせるよう少しばかりの努力はしました。実力を発揮できる環境と、強力なスタッフは我々の誇りにしたいものです。今後は各セクションが実力を伸ばし、強い臨床力のある病院を作っていきたいと考えます。“強く、優しく、頼れる”病院となり、地域に根付いた病院経営を行って参ります。お互いを信じ、努力を讃えあえるよう努力して参りますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



枚方公済病院長
野原 隆司



地域医療連携室長
田中 満

新年あけましておめでとうございます。昨年からは始まった1号館4階実装工事も順調に進み4月の病棟オープンが期待されています。診療体制では皮膚科、泌尿器科、血液内科の常勤医師が着任し、地域の先生方のご支援で着実に診療実績を上げています。さらに4月からは眼科常勤医師の着任が予定されており、ますます充実していくと考えております。この機会に従来からの先生方のご支援に感謝すると共に、今後さらに幅広く地域の先生方との連携を深め紹介、逆紹介を高めていきたいと思っております。最後になりますが、昨年地域医療連携室に中島慶子社会福祉士が加わりました。私ども従来のスタッフ同様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

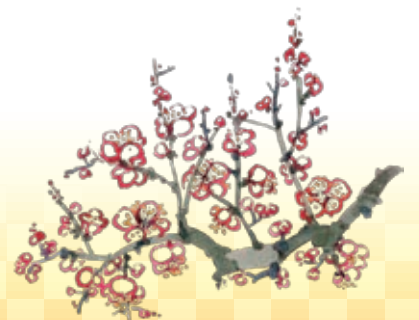
新年あけましておめでとうございます。旧年中は地域の先生方には大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院では糖尿病治療連携ネットワークシステムを導入しています。これは地域の先生方からご紹介いただいた糖尿病の患者様の状態や検査データなどの診療情報をインターネットを介して共有できるものです。登録された医療機関様では、同意を得た患者様の診療情報・検査データ等を参照することができます。登録は随時受け付けておりますのでお問い合わせください。

また地域医療連携室では増員をおこない地域の先生方からの診療・検査依頼等にも迅速に対応出来る体制を整え、後方支援や相談業務対応も強化いたしました。緊急時サポートカードの導入も予定しており、今後もさらに地域の先生方と密接に連携を取りながらお役に立てるよう業務にあたってまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室 事務課長
藤村 寛之



● クリスマスコンサート

去る12月10日夕刻、恒例となりました京都市交響楽団の弦楽四重奏によるクリスマスコンサートが行われました。今年は内分泌代謝科の加藤医師がサンタクロースに扮し司会進行役を務めました。「レハール作曲「メリー・ウィドー」よりワルツ」、「ジングルベル」、「それいけアンパンマン」など幅広いジャンルから9曲を聴き入りました。そしてアンコールの「ふるさと」まで穏やかなひとときを過ごしました。



● 連携医の登録のお願い

当院は地域の医療機関と連携をはかり、医療の向上に努めています。従来の「開放型病床共同利用」のほかにも医療機器や設備、図書室、症例検討会など先生がたに気軽に来院し、紹介いただいた患者さまの情報を共有し、一体となって地域の皆さまの健康維持に貢献したいと思っています。そこでご利用いただくにあたり、事前に登録をお願いしています。

また糖尿病治療連携ネットワークシステムについても登録医の募集をしています。併せて地域医療連携室までお問い合わせください。

● 禁煙外来の開設について

平成26年1月より禁煙外来を開設します。喫煙は慢性閉塞性肺疾患や悪性腫瘍のみならず、動脈硬化を基とするさまざまな病気の危険因子です。禁煙に取り組まなければならない患者さまがいましたらご紹介ください。完全予約制ですので、地域医療連携室より予約をお取りください。

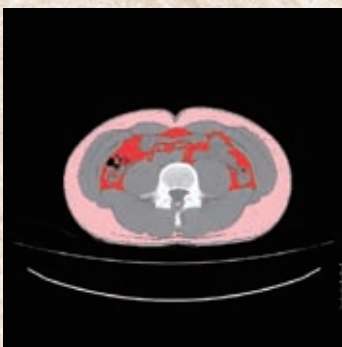


● 2人主治医制の推進について

当院では地域医療連携の取り組みとして「2人主治医制」を推進し、積極的に地域の開業医の先生に紹介をしています。そのために平成25年10月より「患者サポートデスク」を設置し患者さまへの情報提供を行っています。さらに平成26年4月より、当院から連携医療機関に転医される患者さまに安心していただけるよう「緊急サポートカード」の配布を予定しています。



CEの つぶやき④



ファットスキャン

ファットスキャンを導入しました。ファットスキャンとは臍周りのCTを一枚撮影し、その画像の皮下脂肪と内臓脂肪を色分けしてくれるソフトです。一度はテレビなどで見たことがあるのではないのでしょうか？

皮下脂肪と内臓脂肪が色分けされているので、どれだけの脂肪があるのかが一目でわかります。インパクトが大きいので、脂肪が多い場合はダイエットの必要性を感じてもらえると思います。

画像だけではなく、それぞれの脂肪の面積や胴回りのサイズが数値化されます。

内臓脂肪は100m²を超えると多いようです。自分の内臓脂肪の量と比べてどれだけ減らす必要があるのかわかり、目標設定の目安にもなります。

これから検診のオプションで測定していただけます。メタボリックシンドロームは万病の元となりますので、患者様に勧めていただければと思います。やせている方でも意外と内臓脂肪が多い方もいるようです。

臨床工学技士 木戸 悠人

エキスパートズ

④

病院では、様々な専門職種が連携し合い、協力し合って医療を提供しています。そうした医療チームの中で一番の大所帯は、間違いなく看護部です。

このコーナーでは、そんな看護師の活動やニュースを主に取り扱っていきます。

当院に勤める認定看護師にインタビューを行い、その活動を詳しく紹介する特集・第4回目。

2014年最初の号にしてトリとなる今回は、慢性心不全看護認定看護師・原谷こずえ看護主任に話を聞きました。

小川 看護師として勤めて何年になるのでしょうか。また、認定看護師になろうと思われたきっかけを教えてください。

原谷 経験年数でいうと16年になるのでしょうか。ずっと循環器の病棟に勤めていました。長くやっているからには高めたいという欲求がありました。いわゆる役職に就いていく方向と、学問的に専門分野を極めていく方向でいえば、私は学問的に極めていきたいと思っていました。

小川 循環器における看護のスペシャリストを目指して、慢性心不全看護の認定を目指されたわけですね。

原谷 循環器といえば、急性期のイメージが強いかもしれませんが、心臓病は生活習慣病です。急性期を脱しても、慢性期の生活習慣を見直さなければ、何度も繰り返し入院してくることになります。そんな患者さまと関わるなかで、患者さまに行う指導に関心を持つようになりました。

小川 患者さまに行う指導の魅力はどんなところでしょうか。

原谷 先にも話しましたが、心臓病は

地域連携クリティカルパス

良質な医療を効率的、かつ安全、適正に提供するための手段として開発された診療計画表（クリティカルパス）を、急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰るように適用したものである。

診療に当たる複数の医療機関や、医療従事者が、それぞれの役割を明確に認識することができ、組織を超えたチーム医療の実現、継続した治療・看護といった介入をはかることができる。

地域完結型医療を推進する国の方針もあり、地域連携診療計画管理料として一定の条件を満たせば、診療報酬を得ることもできるようになっている。

生活習慣病です。生活習慣を変えることができれば、増悪を防ぐことができます。患者さまと向き合って、達成感が得られるところが魅力ですね。説明してわかってもらうことは言葉にするより難しいことで、結果としてすぐには出てこないですが、長い目で見たときに評価として必ず出てくるものです。

小川 患者さまへの生活指導を行うにあたって、認定看護師として働きかけていきたいことはどんなことですか。

原谷 急性期に病院で治療を受けた患者さまは、病院内にいる間には、食事の管理がされ、内服が正しくできているかチェックが行き届き、看護師の介入と支えがあります。しかし、いざ自宅に帰ってからその患者さまがどう過ごすのかは、なかなか見守ることも見届けることもできません。症状が増悪して再入院してきて初めて、その患者さまの実際の生活がわかるということの方が多いです。これを変えたいと思っています。

小川 患者さまが自宅に帰ってからの療養期間に目を向けたい、ということでしょうか。

原谷 そうです。継続看護ができるようになればいいと考えています。また、院内にとどまらず、地域に広めて取り組みがしたいですね。循環器疾患は突然死もありますが、終末期での引き際が難しいといった面もあり、在宅医療・継続看護の必要性を感じているのです。

小川 なにか実際に取り組まれていることや、今後の目標があれば教えてください。

原谷 現在、地域との連携パスを作り始めています。パスを使用することで、治療の経過が明確になり、継続した治療の水準を一定に保つことができるというようなメリットが期待できます。あとは、当院でも糖尿病看護外来が始まりましたが、そうした看護外来がもっと広げられたらと思います。医師の診療時間ではゆっくりと聴くことのできない家での生活や、内服の状況を確認したり、先生に言うほどのことではないと患者さまが遠慮していわずにいるようなことから、もしかしたら増悪の芽を摘むことができるかもしれない。

小川 循環器疾患の患者さまだけでなく、疾病を持って社会に帰って行く慢性期の患者さまへ、病院に勤める私たち看護師が働きかけられることは何であるのかと改めて考えさせられました。ありがとうございました。

看護師 小川 誉世



医療法人顕夢会 ひろしば耳鼻咽喉科

☑ 開業のきっかけ

廣芝先生：大学での研究よりも臨床医に向いていると考えたから

☑ 毎日の診療に心がけていること

廣芝先生：患者さんの心の満足

医療でできることは限られていますが、一期一会の出会いで総合的な満足度を上げること

田村先生：まず患者さんの訴えをしっかりと聞くこと、そのために患者さんが話しやすい対応をするように努めています。患者さんには、病状、検査結果、治療内容など理解してもらえるように説明することを心掛けています。

☑ 趣味

廣芝先生：水泳、サーフィン、テニス、スカッシュ

田村先生：ゴルフ(練習してもなかなかうまくなりません、そこが良いかもしれません)
スポーツ観戦(ジャンルを問わず、テレビ観戦がほとんどですが、高校野球とプロ野球は年に数回球場へ行きます)

☑ 枚方公済病院について

廣芝先生：短期滞在手術を行っています、貴院は当院にとってなくてはならない病院です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

田村先生：地域の基幹病院として非常に頼りになる存在です。特に画像検査施行で放射線科、手術患者に対する診療で循環器内科と呼吸器内科の先生方には大変お世話になり感謝しております。地域医療連携がしっかりとされていて助かっています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



ひろしば耳鼻咽喉科 院長 廣芝 新也先生



ひろしば耳鼻咽喉科 副院長 田村 芳寛先生

所在地：〒610-0355
京都府京田辺市山手西 2-2-3
☎ 0774-64-0789
診療科目：耳鼻咽喉科

連携医療機関紹介



このコーナーでは連携医の先生方をご紹介していきます。

藤平医院

☑ 開業のきっかけ

開業は昭和44年3月です。当時、現在の藤阪元町地区には医療機関がなく、少しでも地域医療に貢献できれば…と夜間開業から始め、早や44年になります。

☑ 毎日の診療に心がけていること

五診(問診、視診、聴診、打診、触診)を大切に日々診療に従事しています。

☑ 趣味

スポーツ大好き人間です。大学時代は野球部に、医師になってからは大阪府医師会の野球部・ボーリング部・ゴルフ部で多くの大会に参加させていただきました。75歳からはゴルフを週2回ラウンドして楽しんでおります。

☑ 枚方公済病院について

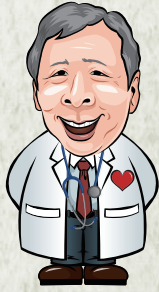
当院に最も近い病院であり、長尾病院、京阪奈病院、枚方公済病院と名称は変わりましたが、長きにわたりお世話になり、感謝いたしております。

ERの増設もあり、昼夜問わず無理ばかりお願いしておりますが、患者さんに安心して紹介出来る病院として頼りにしておりますので、今後共よろしくお願ひいたします。



藤平医院 院長 藤平 亨先生

所在地：〒573-0157
大阪府枚方市藤阪元町 1-7-11
☎ 072-851-1233
診療科目：内科、胃腸科、放射線科



枚方公済病院長
野原 隆司

11月から病院敷地内禁煙を始めた。2年後を目指す病院機能評価への基礎固めともいえる。本来、喫煙と病院診療とは相いれないものである。喫煙の害を嫌というほど知っている。医師の中には喫煙者もいる。強く禁煙を言うのは循環器と呼吸器の医者だ。実際彼らに禁煙外来を依頼する。多くの喫煙信奉者の言い分を聞いた。酒とたばこの比較を言う者もいる。酩酊時の酒の過ちが多いという。あるいは交通事故もしたり。たばこではないと優越性を述べる。害を知り自己責任喫煙はいいのか？ 深刻な間接喫煙の問題もある。

肺癌と診断され“なぜもっと強く禁煙を言ってくれなかったのか”と文句を聞か

される。成人病検診を受け、不整脈の指摘で青くなって来院する。待ち時間に吸っている（不整脈の害）。高額な化粧代を払い、それでも皮膚の乗りが悪いと言いながら喫煙は欠かさない（皮膚の害）。喘息が心配で子を連れてくるが、親の衣服にはたばこの匂い（喘息の害）。どうにも腑に落ちない。喫煙代と医療費を（毒と薬）両方払うことも不可思議である。料亭のごちそうに舌鼓はうつが、隣のたばこの匂いは全くいだけない。同じ匂いの害でも、健康のためには“おなら”の方がまだましだ。

幸い、国は禁煙できない人を病人と認め、禁煙指導（薬）の保険診療を認めた。

旬

なお話

管理栄養士
原 智恵

vol.4

ここでは、食や栄養に関わる旬なお話をしたいと思います。今回は・・・

七草粥

についてです。



七草粥は正月7日に食べる、七種類の野菜（せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ）を入れたお粥の事を言います。

七草粥は正月に疲れた胃を休めるために食べるなどとも言われていますが、古くは、6日の夜に厄を払うお唱えをしながら七草をたたき、7日の朝にたたいた七草を入れたお粥をたいて神様に供えてから家族で食し、その一年の無病息災と五穀豊穡を祈るものとされていたようです。

それでは、各々にはどのような効能が期待できるのでしょうか…

- せり………… 健胃・食用増進・解熱・利尿・去痰など
- なずな………… 止血・消炎・鎮痛・利尿・解熱・下痢止めなど
- ごぎょう…… せき止め・去痰・扁桃腺炎・利尿など
- はこべら…… 利尿・乳汁分泌促進・歯痛・消炎など
- ほとけのざ… 健胃・食欲増進・歯痛など
- すずな………… 消化促進・解毒・せき止め・そばかすなど
- すずしろ…… 消化促進・せき止め・去痰・利尿など

意味や由来を知り、皆さんも新たな気持ちで七草粥を食べてみられてはいかがでしょうか？

七草粥

《作り方》

- ①米はといで、水 900ml とともに土鍋に入れて、沸騰したら弱火にし 30～40 分ほど炊く。途中ふきこぼれそうになったら、ふたをずらして蒸気を逃がす。
- ②七草は細かく刻む。
- ③おかゆが炊きあがる 5 分前に、塩少々をふり入れて七草全体に混ぜる。器に盛って白ごま、黒ごまをふる。

《材料（4 人分）》

- 米 1 合 ●七草 適量 ●塩 少々
- 白ごま 適量 ●黒ごま 適量

編集後記

新年おめでとうございます。旧年中は当院の医療活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、年末よりひとしお寒さが身に染みるようになりましたが、みなさまにはいかがお過ごしでしょうか。昨年は当院にとってさまざまな出来事があり、目まぐるしく過ぎていきました。なかでも病院長交替は最も大きな出来事で、あらゆることに対し変更が必要で、転換することを迫られました。

また当院と連携医療機関をつなぐ広報誌「連携だより」を「スマイルひらこう」としてリニューアルした年でもありました。編集長として多職種の編集員とともに取材し作り上げることは楽しくも難しくもありました。そのようななかで連携医の先生方にはお忙しいにもかかわらず取材に応じてくださりましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。本年も引き続き、順次ご紹介させていただきますので協力よろしくお願いいたします。

本年がみなさまにとって良い年でありますこと、心よりお祈り申し上げます。

企画課 徳田 裕美子



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093

<http://kkh-hirakoh.org/>